

「親世代が中心となって地域を元気に」  
青壮年（左鐙の将来を考える会）と公民館の連携による過疎地の挑戦

吉賀町立左鐙公民館

1. 左鐙公民館の概要

平家の落武者が馬の左の鐙（あぶみ）を落としたことから名付けられた津和野町（旧日原町）左鐙地区は、島根県の最西部に位置し、農林業を中心として栄えてきた。しかし、旧日原町にあった営林署も統合となって地場産業が失われ、若者の町外流出が多く、地域の活力が失われつつある。また、地元にあった左鐙保育園も昨春に休園となり、左鐙小学校も在校生が7人となるなど、過疎少子高齢化が進んでいる。現在、地区全体として人口333人、集落は5集落（左鐙元郷・上横道・下横道・一の谷・畳）で形成され、高齢化率は48.6%となっている現状である。環境的には自然豊かであり、島根一高い山であり、ぶなの原生林の残る安蔵寺や2年連続日本一の清流となった高津川が流れる。左鐙地域で獲れる鮎やわさびは、全国でも高い評価をいただいている。

2. 事業の概要

(1) はじめに

①実証事業名 住民と公民館が連携した左鐙の地域づくり

②実証事業のテーマ

「親世代が中心となって地域を元気に」

青壮年（左鐙の将来を考える会）と公民館の連携による過疎地の挑戦

③実証事業のねらい

左鐙公民館においては、少子高齢化の進む左鐙地区で、地域住民が共生できる地域づくりを課題として、昨年行ったアンケートを元に、「農山村体験」「異世代交流」「学びの推進」「情報発信」という4つの柱を立て、地元住民によって構成する運営委員会において事業を企画している。

その4つの柱の具体的な内容として、児童生徒の農山村体験交流、青壮年団体活動、中高年世代の軽スポーツを通じた交流と健康づくり、アンケートによって明らかになった地域課題に対する学習などを行う。これらの事業を通して、世代間の融合を図り、ホームページ等によって情報を全国に発信し、左鐙の豊かさを再発見することを通して、地域の活力を取り戻すことを目的として活動を行う。

そして、左鐙の将来を担う青壮年が中心のメンバーとなっている「左鐙の将来を考える会」と共催で、夏と秋の2回開催する宿泊体験を企画立案実践することを通して、地域への愛着と地域リーダーを育て、将来の地域づくりを進める。

一方、地区内の中高年に事業推進のボランティアとして積極的に関わっていただき、事業を通して、親から子へ、子から孫へ、地域の自然・歴史・産業・人間関係などを伝承して、地域の良さや改善すべき点などを学び、左鐙の地域づくりの礎としていく。

こうしたねらいの中で、地域課題の解決への手段として、地域住民自らによって公民館の諸事業を企画立案し、学習を通して実践活動に結びつけ、住民が共生でき、うるおいのある地域づくりに向けてのサポートに努めていく。

(2) 具体的な取組（内容、活動状況 等）

①左鐙の将来を考える会との連携

ア. 夏休み親子宿泊体験〈8月1日（金）～3日（日）〉

第2回 夏休みさぶみ宿泊体験を開催した。今回は、西は関東から広島・福岡までの全国から小中学生31名が集まり、左鐙小学校の7名と中学生の12名と共に、合計50名の子どもたちの歓声が左鐙に響き渡った。2泊3日の宿泊体験を通して、左鐙の歴史・風土・自然等にふれ、地域の良さを理解すること、また少人数の左鐙小学校児童と都市等の他地域の児童との交流を目的として開催した。



宿泊体験での羽釜での炊飯 参加した子どもたち 牛のえさやり

イ. 祭りだよさぶみに集合！〈10月4日（土）～5日（日）〉

地区内外から約200名が参加し、昔の村の祭りの良さを体感するために、祭り料理を味わいながら、夜神楽の鑑賞をした。翌日には神輿をかついだり、餅まきを楽しんだ。

ウ. 宿泊体験事前打合せ兼交流ホタルツアー

〈6月21日（土）～22日（日）〉

夏休みさぶみ宿泊体験の事前打ち合わせを兼ねて、スタッフになっていただく地区外の方に来ていただき、事前打ち合わせと山が明るくなるほどのホタルの乱舞を見てもらう目的で開催した。

## ②キッズ交流会

左鐙保育園の休園に伴い、自然豊かな左鐙地域で子どもたちが活動したり、高齢者と幼児の交流を促進することを目的として開催した。

第1回 6月13日（金）日原保育園児23名（年中・年長）

神楽遊びや周辺散策、地元婦人方による手料理

第2回 11月6日（木）日原保育園児40名

イモ掘りや元左鐙保育園園庭での遊び

第3回 12月11日（火）日原保育園児23名

左鐙地区ミニデイサービス参加の高齢者25名と交流

（餅つきと高齢者交流）

第4回 3月中に予定

左鐙地区ミニデイサービス参加の高齢者との交流



神楽あそび



高齢者との昼食



高齢者とのもちつき

## ③軽スポーツ（グランドゴルフ）交流会

子どもからお年寄りまで参加できる軽スポーツの「グランドゴルフ

フ」を通して、地域住民の交流と健康増進を目的として、モデル公民館事業として定期開催を始めた。左鐙小学校グラウンドでグラウンドゴルフを行い、終了後には、児童・PTA 人数の減少により地域の援助も必要となった左鐙小学校グラウンドの草取りを行った。グラウンドゴルフ同好会の結成を行い、大会と毎月の定期練習を開催した。

ア. グラウンドゴルフ大会 7月19日(日)参加者15名

イ. 左鐙小学校グラウンド草取り・交流会 6月7日(日)

ウ. グラウンドゴルフ定期練習

4 / 5・5 / 3・5 / 17・6 / 7・7 / 5・7 / 19・8 / 2  
8 / 31・9 / 27・10 / 11・11 / 1・11 / 25・12 / 14・2 / 7



子どもと一緒にグラウンドゴルフ



グラウンドゴルフ後の草取り

#### ④ さぶみフェスティバル (左鐙公民館まつり) 11月30日(日)

「集い、語ろう、楽しもう、世代を超えて」をテーマの下に、地区民相互のふれあいを通して、共に生きていく力を育み、豊かな地域の創造を目的として開催した。

左鐙小学校学習発表会

左鐙地区金婚式 (さぶみの将来を考える会主催)

地域作り講演会…旧金城町長 安藤美文氏

農産物品評会・即売会

文化芸能発表…津軽三味線・大正琴・舞踊・子ども神楽「恵比須」

左鐙オリジナルビデオ「さぶみパラダイス」上映

#### ⑤ 成人講座「島根の歴史を学ぶ」

昨年開催の「石見銀山の歴史を学ぶ」に引き続き、今年度は60年に一度行われる出雲大社の遷宮に合わせて、本殿の拝観及び歴史博物館の見学を通して、先人の残した島根の歴史を学ぶことを目的として開催した。

8月8日(金)参加者数28名

#### ⑥ パソコン教室

また、中高年を対象としたパソコン教室を開催し、年賀状作りや子どもや孫とのメール等を行うことを通して異世代交流を促進した。

毎月2～3回開催

#### ⑦ 広報 (インターネットホームページ)

地域の情報を全国へ発信するために、ホームページやブログを通じて地域を紹介している。

ア. ホームページ「ようこそ、さぶみへ！」

(アドレス <http://www.sun-net.jp/~sabumi/>)

イ. さぶみブログ

(アドレス <http://sabumiblog.cocolog-nifty.com/blog/>)

ウ. さぶみの子供たちブログ

(アドレス <http://sabumi.blog5.fc2.com/>)

### 3. 事業の成果と課題

(1) さぶみの将来を考える会との連携で、夏休み親子宿泊体験や秋祭り体

験等を行っており、参加者数が毎年増加しており、恒例行事として定着してきた。参加者からは「さぶみは第2の故郷」という嬉しい声等をいただいている。地元の婦人や高齢者が、宿泊体験のお手伝いをさせていただくことを通して、異世代交流を促進することができた。

県外から参加した子どもたちの感想

- ①川遊びで飛び込んだり、そばうち体験をしたり、牛のえさやりなどができたのが良かった。
- ②遠い神奈川から新幹線で4時間。島根の友達と仲良くなりた  
い！それしか思ってなかったけど、この2泊3日はとっても楽しい日々でした。
- ③夜中は涼しくて最高の寝心地でした。星がきれいでした。
- ④去年とはちがう友達のできたので、よかったです。

参加した地元の人たちの感想

- ①昨年参加してくれた子どもたちが、また今年参加してくれた事は本当にうれしかったです。
- ②久しぶりにこんなに大勢の友だちに逢って楽しかった。

課題としては、本来の目的である定住促進や山村留学には、現在のところあまり結びついていない。これから長期スパンで考え、事業を継続して行っていく必要を感じている。

- (2) キッズ交流会は、左鏡保育園の休園で小さな子どもたちとの交流の機会がなくなった地元の高齢者等とのふれあいができた。子どもたちの移動手段の確保が課題である。
- (3) グランドゴルフは、地元でグランドゴルフ同好会が発足したことで、自主性や健康促進が図られた。また、子どもと高齢者が一緒にプレイすることで交流が図られた。左鏡小学校の児童やPTAの減少により困難になった環境整備（グランドの草取り）の促進に寄与した。課題としては、地域全体、全年齢層への広がりや課題である。
- (4) さぶみフェスティバル（さぶみ公民館まつり）は、地域の課題を明らかにして、これからの左鏡の行くべき方向性を学び、文化芸能を通して地域の絆を深めることを目的に開催している。今後も多方面から講師を呼び、学びを深めて行きたい。
- (5) 成人講座「島根の歴史を学ぶ」は、意外と知らない地元島根の歴史を学び知ることによって先人の築き上げた礎を学ぶことができた。今後も各地へ出かけて、学びを深めて行きたい。
- (6) ホームページ等を開設して以来、約2年が経過し、現在は毎日20人以上のアクセスをいただいている。ホームページやブログも随時更新して、今や生活に不可欠となったインターネットでの情報発信を通して、都市と田舎を結ぶラインとしての役割を担っていく。パソコン講座も、現代の時代社会の流れの中で、パソコンを学びたい高齢者が学ぶ機会として継続して行きたい。

#### 4. 今後の方向性

親世代を中心として、地域づくりを進める中で、多くの人の共感を得るために、活動の幅を広げるための学習の推進や活動への理解を深めていくことに努めていく。また、地域課題の解決に向けて、青壮年と高齢者層の学習の充実と実践活動への参加を促し、異世代の融合を図り、共生し、住み良いふるさとづくりを目指す。

これからの情報化時代にとって、インターネットを使った情報発信は必須の項目と言えると思う。他の公民館ともホームページの作成などを協力して推進して行きたい。